

第2次今治市学校適正配置基本方針の策定について

今治市教育委員会事務局

1 前回の学校適正配置の実施状況

(1) 今治市学校適正配置基本方針（平成22年2月策定）

① 適正基準

【規模】小学校は1学年2～4学級、中学校は1学年2～6学級

【配置】小学校／通学距離：概ね4km以内（徒歩）

中学校／通学距離：概ね6km以内（徒歩・自転車）

陸地部／旧町村区域を越えない統廃合、

島嶼部／島域を越えない統廃合

小学校と中学校の通学区域の整合性について配慮

② 適正配置の取り組み方法

ア 隣接する小規模校と統合

イ 隣接する小規模校がない場合、隣接校と統合

ウ 遠距離通学によりスクールバス等が必要な場合は、路線等の確保が可能な統合

(2) 対象校となった学校の結果

①旧町村陸地部／旧行政区域内に小規模小学校2校がある地域

朝倉地区	■上朝小・下朝小	H26年4月統合「朝倉小学校」（下朝小）
玉川地区	□鴨部小・九和小	
菊間地区	□亀岡小・菊間小	

②旧町村島嶼部／島内に小規模小学校2校、小規模中学校2校がある地域

大島地区	□吉海小・宮窪小	
	■吉海中・宮窪中	H27年4月統合「大島中学校」（吉海中）
大三島地区	□上浦小・大三島小	
	■上浦中・大三島中	H27年4月統合「大三島中学校」（上浦中）

③旧今治市／旧市内中心部に小規模小学校が集中している地域

旧今治地区	■美須賀小・城東小・ 今治小・日吉小	H27年4月統合「吹揚小学校」
	■美須賀中・日吉中	H25年4月統合「日吉中学校」（日吉中）

2 児童・生徒数の現状と見込み

(1) 今治市内の学校数、児童生徒数の推移

(単位：校、人)

	小学校			中学校			出生数 (年)
	学校数	児童数	1校当たり 平均 児童数	学校数	生徒数	1校当たり 平均 生徒数	
平成 17 年度	33	9,602	291	21	4,918	234	1,254
平成 18 年度	33	9,376	284	20	4,422	221	1,349
平成 19 年度	30	9,256	309	20	4,449	222	1,289
平成 20 年度	30	9,166	305	19	4,437	234	1,293
平成 21 年度	30	8,988	300	19	4,456	235	1,282
平成 22 年度	30	8,848	295	19	4,386	231	1,295
平成 23 年度	30	8,551	285	19	4,449	234	1,317
平成 24 年度	30	8,366	279	19	4,271	225	1,206
平成 25 年度	30	8,129	271	18	4,284	238	1,131
平成 26 年度	29	7,939	274	18	4,083	227	1,047
平成 27 年度	26	7,794	300	16	4,071	254	1,118
平成 28 年度	26	7,709	297	16	3,971	248	1,065
平成 29 年度	26	7,669	295	16	3,896	244	1,025
平成 30 年度	26	7,666	295	16	3,762	235	1,015
令和元年度	26	7,554	291	16	3,660	229	895
令和 2 年度	26	7,391	284	16	3,643	228	841
令和 3 年度	26	7,148	275	16	3,652	228	817
令和 4 年度	26	6,893	265	16	3,647	228	746
令和 5 年度	26	6,709	258	16	3,580	224	

※中学校は今治明德中学校を含む

(2) 学校ごと、学年ごとの児童・生徒数（現在及び見込み）

ア 小学校【令和5年度（5月1日現在）】

学 年	R10 入学	R9 入学	R8 入学	R7 入学	R6 入学	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	参考
年 齢	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	現在の 児童数	H27年度 児童数
吹揚小学校	44	57	42	70	51	59	61	51	67	61	66	365	420
別宮小学校	30	38	42	33	39	40	36	39	33	49	36	233	270
常盤小学校	74	61	68	58	55	69	76	76	82	86	92	481	523
近見小学校	38	32	36	39	49	48	46	36	47	51	58	286	320
立花小学校	58	52	60	67	70	71	70	59	67	85	89	441	521
鳥生小学校	65	79	82	67	79	88	83	65	76	66	72	450	435
桜井小学校	41	41	44	46	40	48	43	54	57	55	72	329	451
国分小学校	40	23	25	31	25	29	32	31	31	38	45	206	263
富田小学校	65	67	69	72	86	84	85	90	91	101	111	563	675
清水小学校	34	36	36	55	51	44	53	74	49	64	68	352	384
日高小学校	86	82	66	94	97	82	83	84	86	101	89	525	565
乃万小学校	62	70	93	88	93	120	117	116	120	105	121	699	558
波止浜小学校	17	26	20	38	30	32	47	40	51	60	57	287	335
朝倉小学校	9	18	11	17	14	22	27	25	25	30	22	151	201
鴨部小学校	9	6	13	10	7	13	10	17	12	13	16	81	102
九和小学校	9	14	12	8	13	11	15	13	16	9	21	85	107
波方小学校	26	35	31	33	39	47	24	35	44	41	42	233	330
大西小学校	41	38	53	56	67	49	65	62	55	48	64	343	418
亀岡小学校	7	7	9	8	8	10	7	7	7	6	8	45	65
菊間小学校	4	12	7	11	14	16	8	15	18	22	16	95	150
吉海小学校	8	6	10	13	8	12	8	7	7	17	11	62	137
宮窪小学校	5	11	7	6	12	10	9	6	13	13	11	62	118
伯方小学校	21	24	25	23	31	38	32	35	26	33	39	203	253
上浦小学校	6	2	6	9	8	4	9	7	11	11	9	51	90
大三島小学校	2	12	6	7	8	12	12	11	12	12	18	77	100
岡村小学校	0	2	0	1	0	0	1	0	1	1	1	4	3
合 計	801	851	873	960	994	1,058	1,059	1,055	1,104	1,178	1,255	6,709	7,794

8人以下

35人以下

※R5 年度以降の入学者数は各校区の住民登録人数による（R5. 3. 31）

※複式学級 ○亀岡小学校【3/4年】【5/6年】

○吉海小学校【3/4年】

○宮窪小学校【2/3年】

○上浦小学校【2/3年】

○岡村小学校【2/4年】【5/6年】

イ 中学校【令和5年度（5月1日現在）】

学 年	R10 入学	R9 入学	R8 入学	R7 入学	R6 入学	1年	2年	3年	計	
年 齢	8	9	10	11	12	13	14	15	現在の 生徒数	H27年度 生徒数
日吉中学校	180	166	186	198	202	142	132	159	433	556
近見中学校	47	33	51	54	59	50	63	57	170	155
立花中学校	154	126	139	155	167	143	147	175	465	424
桜井中学校	83	87	90	95	120	78	67	79	224	294
南中学校	133	166	138	164	180	143	158	162	463	510
西中学校	208	205	209	212	214	209	204	177	590	559
北郷中学校	74	78	100	99	103	86	105	89	280	387
朝倉中学校	27	25	25	31	20	36	27	29	92	94
玉川中学校	25	30	30	24	40	36	32	28	96	118
大西中学校	63	65	53	49	65	43	87	59	189	214
菊間中学校	15	22	26	30	24	23	35	25	83	130
大島中学校	17	13	20	29	22	24	35	35	94	132
伯方中学校	31	35	25	33	39	27	23	43	93	144
大三島中学校	21	17	23	23	29	24	19	24	67	113
関前中学校	0	1	1	1	1	0	0	0	0	2
合 計	1,078	1,069	1,116	1,197	1,285	1,064	1,134	1,141	3,339	3,832

8人以下

35人以下

※R5 年度以降の入学人数は各校区の住民登録人数による（R5. 3. 31）

※小学校区別の数値のため実際の入学人数とは異なる

3 学校適正配置にかかるスケジュール

R5 年度 学校運営協議会への説明

（前回の学校適正配置の実施状況、児童生徒数の現状と見込み、適正配置に関する国の考え方）

地元意見の聴取、意見集約

R6 年度以降 今治市通学区域調整審議会に「学校規模学校配置のありかたについて」諮問
審議会の答申を受けて「第2次今治市学校適正配置基本方針」を策定

- 児童生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという特質を踏まえると、学校については一定の規模を確保することが望ましい。

※小規模の場合には、例えば、以下のような課題が生じる

- ・クラス替えができない、クラス内で男女の偏りが生じる、人間関係が固定化する
- ・多様な意見に触れることが難しくなる、スポーツ実技や合唱・合奏などが困難になる



- そのため、文部科学省では、小中学校の学校規模(学級数)の標準等を設定。(12学級以上18学級以下)

ただし、学校適正配置に関する基本的な考え方は、

- 学校規模適正化の検討は、児童生徒の教育条件をより良くする目的で行うべきもの。
- 学校統合を行うか、学校を残しつつ小規模の良さを活かした学校づくりを行うか、休校した学校の再開を検討するかなど、活力ある学校作りをどのように推進するかは地域の実情に応じたきめ細かな分析に基づく各設置者の主体的判断。
- コミュニティの核としての学校の性格や地理的要因・地域事情等に配慮する必要。特に過疎地など、地域の実情に応じて小規模校の課題克服を図りつつ小規模校の存続を選択する市町村の判断も尊重。



- 小規模校の課題を緩和する方策も。

小中一貫教育による一定の学校規模の確保

●小中一貫教育制度

- 小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育

●小中一貫教育による教育環境の充実

- 教員配置人数の確保
- 教科専任制の教員による授業

ICTの活用による他校との合同授業

●遠隔合同授業

- 遠隔会議システムなどのICTを活用して離れた学校同士をつなぎ、両校の児童生徒が合同で行う授業

●遠隔合同授業の主な効果

- 学習活動の規模が広がり、友達との話合いや議論を通じて、多様な意見に触れられ、自分の考えを深められる
- 学習意欲や相手意識が高まり、コミュニケーション力や社会性が養われる